

よどまち さーち

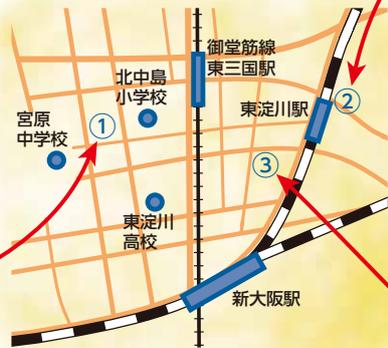
北中島 地域

淀川区まちづくりセンターのスタッフが地域を訪問し、興味を持ったスポットや取り組みを紹介するシリーズ。
第7回目は、北中島地域です。



①ビルの谷間に畑?

空地? よく見ると、畝が作られトウモロコシ、赤紫蘇、ササゲが植えられている畑でした。中高層マンションやビルが立ち並び北中島地域の街なかに広い畑が残っていてびっくり。過去にタイムスリップしたような感覚を味わいました。何年後、ここはどうなっているのでしょうか。



②「開かずの踏切」廃止へ!

東淀川駅は、新大阪駅のすぐそばにある小さな駅で、歴史のある駅舎は白い壁とオレンジ色の瓦屋根が印象的です。駅の両側にある踏切は、1時間当たり最大で56~7分間遮断機が降りている「開かずの踏切」として有名ですが、平成30年末ごろには廃止。線路を跨ぐバリアフリーの自由通路が新設され、駅も橋上化される予定だそうです。



③古い道標と蔵発見!

「右 大坂 道」「左 ミの かけを寺中山 池田 伊丹 道」。住宅街の道路脇に、かつて北中島を縦断し大阪(大坂)と北摂を結んでいた横関街道の名残を示す古い道標が残っています。区画整理などで街道は寸断されましたが、明治4年に建てられた道標が歴史を伝えています。また、このあたりは北宮原と南宮原の集落があったところで、今でも蔵を残している家々を見かけます。



淀川区まちづくりセンター Facebook 淀川区まちセン FB 検索 地域情報発信中!!



それいけ、まさふみ!

淀川区長 榎 正文

旧区役所跡地、新図書館はどうなってるの?

先日の「区長とかたろう」でも質問があり、この機会に皆さまに途中報告いたします。現在、土地活用、建築設計のコンサルティング事業者さんとともに検討中で、この9月末位までには本構想について市長のゴーサインを得たいと思っています。

新図書館の基本コンセプト素案の柱は次の3つを掲げました。

- ①「新たな市民参画の創造」
⇒運営は常に区民目線、ユーザーに寄りそう図書館
- ②「新たな市民交流の創造」
⇒赤ちゃんが泣いても気にならないワイガヤ図書館
- ③「新たな賑わいの創造」
⇒朝昼晩違う顔を持つ淀川らしい多様なユーザーが集う図書館

先日、淀川区子ども教育会議*で熱い討論が交わされ、「今後の地域図書館像は、本を置く場所というハコモノではなく、人と人との交流をベースにした、『人が繋がるまち』を図書館の中につくるもの」という理念には概ねご賛同をいただきました。また、新図書館の機能

は、生涯学習の入口や発展の場としても、自律的な地域自治の進展という視点においても不可欠な存在であるはず、という課題設定もしました。今後さらにご意見を賜り固めていきたいと思っています。次回の区子ども教育会議、ぜひ傍聴にいらしてくださいね。日程は区役所HPで広報します。*…分権型教育行政で区内の保護者・住民代表の声を反映する会議

「区長とかたろう」参加者募集!

区長の榎が直接話をうかがいます。

日時 毎週金曜日 18:00~18:30(9/9は14:00~14:30)
毎月第4日曜日 10:00~11:00

*公務等で開催できない場合はHP、ツイッター等でお知らせします。

場所 区役所1階ロビー お一人10分

受付 事前予約制。実施日の10日前から開催直前の木曜日13:00までの間で予約を受付します。
詳細はホームページが担当へお問合せください。

担当 政策企画課 5階51番 電話6308-9683